

3 生命分子工学専攻

本専攻は、分子レベルで生命現象を解明し、生体分子の機能を化学的な視点から理解すると共に、その機能を人工的に再構築して利用する幅広い領域を対象としている。この中で本専攻の学生は、核酸、タンパク質、糖鎖などの分子生命化学、それらを改変、再構築して応用する生体分子工学、遺伝子工学、さらに物質生産や環境化学、医用工学に関する研究を推進し、生命分子工学に関連する幅広い専門知識と実践的な研究遂行能力、問題解決能力を身に付け、社会で活躍できる人材を目指す。さらに、博士後期課程においては、より高度な専門知識と遂行能力を身につけ、未知の挑戦的な課題に対して世界に先駆けて取り組み、新たな研究フロンティアを開拓できる研究者となることを目指す。

名古屋大学大学院工学研究科 生命分子工学専攻

博士後期課程 ディプロマポリシー

- 生命分子工学に関連する高度な専門性と幅広い応用力
- 国際的な視野とリーダーシップ・創造力・総合力・俯瞰力
- 国際水準の研究者として未知の挑戦的な課題に取り組み、新たな研究フロンティアを開拓する力
- 生命分子工学の高度な専門性を基に、次世代の「工学・技術」を創出する力

学位論文 審査基準：新規性、独自性等高度な学術的価値を有し、生命分子工学の学術研究に大きく貢献
(複数の審査委員による審査)

【専門科目 (セミナー)】

分子生命化学セミナー
2A~2D
生命システム工学セミナー
2A~2D
国際協働プロジェクトセミナーII
U2,U4

【専門科目 (講義)】

前期課程で修得済みの科目を除く各科目

【総合工学科目】

研究指導

博士研究
学会発表等の
研究活動

博士前期課程 ディプロマポリシー

- 生命分子工学に関連する専門性と応用力
- 幅広い国際的な視野と総合力・俯瞰力
- 実践的な研究遂行能力と問題発掘・解決能力
- 生命分子工学の専門性を基に、次世代の「工学・技術」の持続的発展に寄与できる力

修士論文 (複数の審査委員による審査)

【専門科目 (セミナー)】

分子生命化学セミナー
1A~1D
生命システム工学セミナー
1A~1D
国際協働プロジェクトセミナーI
U2,U4

【専門科目 (講義)】

ナノバイオ計測化学
生体分子応用化学
生命超分子化学
遺伝子工学
生物化学工学
分子生命環境プロセス
生命分子工学特論 I, II

【専門科目 (実験・演習)】

分子生命化学特別実験及び演習1~4
生命システム工学特別実験及び演習1~4

【総合工学科目】

産学連携教育科目
実習・演習科目
分野横断科目
特定プログラム対象科目

他専攻等
科目

視野を拓けるのに
資する他
専攻・他
研究科科
目

研究指導

修士研究
学会発表
等の
研究活動

【基礎科目】 分子生命化学基礎論 生命システム工学基礎論
有機・高分子化学基礎論 物理化学基礎論 個体化学基礎論

D3

D2

D1

M2

M1